

まほらいな市民大学の様子

令和3年11月8日（月）

まほらいな市民大学

第24期生・大学院7期生入学式

市民大学講座

『 市政よもやま話 』

講師 まほらいな市民大学学長 伊那市長 白鳥 孝 氏



伊那市の生涯学習の場である「まほらいな市民大学」の第24期生（32名）ならびに大学院第7期生（5名）の入学式がニシザワいなッセホールで行われました。

学長である白鳥 孝 伊那市長から、「お互いに健康に留意され、市民大学で学ぶ楽しさや、人との出会いや絆を大切に、より一層学習を深めていただきたい。」と歓迎のあいさつがありました。第24期生を代表して山田 泉さんが「講座で伊那市のことをもっと知り、幅広い分野で学ぶことができるのがとても楽しみ。出会えた仲間と明るく楽しく過ごしたい。」と決意を語りました。また、大学院7期生代表の野沢正三さんは、「歴史・自然科学の2コースで、自分の興味のあることがらを更に深く掘り下げ自主的に学んでいきたい。」と語りました。



入学式に続いて市民大学講座『市政よもやま話』が行われ、白鳥市長からは、伊那市の取組とビジョンについて話がありました。

美しい景観を守りながらの伊駒アルプスロード建設や、産業・観光・医療などの充実・発展につながるインフラ整備。高齢者住宅の建設と市民や女性が働ける場づくりや企業の誘致。地域ポテンシャルと農業・林業を活かした産業の推進や「伊那から減らす CO2」の実践。ドローン物流やAIぐるっとタクシー、モバイルクリニックなど、最新技術を活用し山間地や高齢者等の弱い立場の人たちに優しい環境づくり。「新産業技術推進協議会」による広範囲・多角的な計画と関連事業の推進など、伊那市の将来について熱く語られました。

学生からは「モバイル事業など具体的な市政について知ることができ、いろんな方の努力で成り立っていることがわかって良かった。」「自然を大切にしながら産業の発達を考えてられていて良いと思った。」「伊那市の将来がとても楽しみになりました。」といった感想がありました。